

交換留学生活 予想外にも充実した異色の日々

1. 授業について

実は交換留学を選んだきっかけは、日本の学生生活がどんな感じか知りたくて、日本文化を体験してみたかったからなんです。愛教大で自由に授業が選べると聞いたときは、結構テンション上がりました！もともとの専攻は中国史教育なんですけど、美術や音楽の授業にも興味津々で、「日本で音楽を学べたらなあ」なんて夢みたいなこと考えたこともあります。実際に日本史の授業を受けてみたら、日本語の壁がけっこう高くって…これは難しい！ってなつて、勢いで芸術系の授業を多めに取っちゃいました。授業では先生方にとっても親身にしていただいて、質問すると丁寧に教えてくださるんです。本当にありがたいです。愛教大の授業は全体的にすごく良いんですけど、一つだけ…自習の環境にはちょっとした違和感が。前の大学の図書館は24時間オープンで、よく夜な夜なこもって勉強してたんですよね。でも愛教大の図書館は閉館が早いので、夜は会館で頑張るしかなくて。まあ、夜更かしは体に良くないってことですよね？ですので、このちょっとしたギャップ、どうかご勘弁くださいまし！

2. 日常生活について

日常生活については…大学のサポート、本当に至れり尽くせりで、感動モノです！

まず、日本生活のスタート時、大学が日本人学生を手配してくれて、手続きから生活用品の準備までマンツーマンでフォローしてくれました。それに！早く環境に慣れるよう、交流イベントも盛りだくさん。特に感動したのが、寮生専用の自転車を貸し出してくれるサービス！これには「助かる～」と心の声が漏れました。移動が格段にラクになって、生活の質が爆上がりです！学食のご飯も激ウマなんですけど、残念ポイントは昼限定なこと。朝晩は自炊が基本ですが、たまには外食で息抜きも。休日には寮のホールでみんなでワイワイパーティー。料理を作って食べて、最高のリラックスタイムです！旅行も楽しんでいて、日本様々の景色や文化を満喫中。キャンパスのすぐそばには洲原公園があつて、たまに湖のほとりで勉強したり創作活動に没頭したり…。これぞ理想の大学生活！って感じです

3. 留学中、特に苦労したこととその対処法

最も大変だったのは、やはり日本語の壁です。来日当初は日本語がほとんどできず、外出時

は一言も話せない状態でした。店員さんの言葉が理解できず、先生との意思疎通もうまく伝わらないことが多かったのです。特に難しかったのは、芸術系科目を中心に履修していたにもかかわらず、日本史研究方法論に興味を惹かれ、日本史概論の授業を選択したことです。講義の日本語レベルは私にとって非常に高く、毎回配布されるレジュメに週末の大半を費やして勉強する必要がありました。しかしこの状況を真摯に受け止め、日本語学習に一層励むとともに、積極的に他学生と交流するよう心がけました。最初は友人との会話もままなりませんでした。7月には KFA ラジオの収録に挑戦。スタジオで1時間話し続けた経験が、大きな自信となりました。とはいえ、まだまだ不十分です。引き続き努力してまいります！

4. 留学を検討している学生へアドバイス

第一に、事前準備の重要性です。日本に限らず、留学先では一定の語学基礎を身につけておくこと。これにより、最低限の生活・学習に支障をきたさないようにしましょう。第二に、現地文化への積極的関与。例えば日本では、地元の食文化を自ら探求し、伝統的な調理法を学んだり、祭りに参加して文化の核心に触れたりすることをお勧めします。最後に、「交流への覚悟」を持って臨むこと。異文化背景を持つ人々と積極的に関わり、相互理解を深める姿勢こそが、交換留学の真髄ではないでしょうか。

5. 留学経験や成果の活用について

実は今回の日本留学が初めての異文化体験ではなく、以前に故郷から香港の大学へ進学した際にも、大きく異なる文化環境を経験しております。そのため、今回の交換留学では適応力と異文化コミュニケーション能力がさらに鍛えられ、今後もより多くの地域で学びたいという意欲が芽生えました。率直に申しますと、観光と生活は全く異なるものです。日本で4ヶ月生活したことで、社会の仕組みや日常の価値観に対する理解が深まったと実感しています。

また予想外の収穫は、日本語能力の向上でした。これにより新たな目標が生まれました。これまで学術研究で日本学者の論文を参照する際、翻訳版がなく機械翻訳では正確に理解できず、困難を感じておりました。帰国後も日本語学習を継続し、将来は歴史学の研究成果を中日間で流通させる翻訳業務に携わりたいと考えております。

6. まとめ

このたびは貴重な交換留学の機会を賜り、心より御礼申し上げます。また、半年間にわたりご指導くださった先生方には、私の未熟さから度々ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、温かく支えてくださり、深く感謝しております。率直に申しますと、今回の留学は計り知れな

い収穫をもたらしました。異なる国の方々と勇気を持って交流し、文化の異同を分かち合えたこと。日本の生活様式を肌で感じられたこと。さらに授業では新たな知見を得て、多くの気づきを与えられたことが、何よりも大きな喜びです。

人生においてこのような機会に恵まれたことを、心から感謝するとともに、この経験を今後
に必ず活かしてまいります。

写真

